



「みつわの給食」



本校給食室の調理員スタッフ



学校給食の歴史は古く、1889年(明治22年)に山形県にある私立小学校で、無料でおにぎりとお漬物が配られたのが始まりとされています。その後はいわゆる「欠食児童対策」として、全国に広まりましたが、太平洋戦争時の食糧難で一時中断することとなります。戦後に再開され、昭和29年の学校給食法制定とともに、国民の食生活の改善が唱えられるようになりました。平成21年の法改正で、「食育」を重要視し、「食に関する正しい理解」が求められています。

香芝市内では小学校は早くから自校方式の給食を提供してきました。本校においても開校当時から実施されています。中学校は今から6年あまり前に広陵町と共同で、センター方式の給食を実施するようになりました。現在は、奈良県内の全ての小中学校で学校給食は行われていることとなっています。

そのような中、本校では「食育」の推進について、以下のような指導目標を掲げ、様々な活動の中で実施しています。

- ①食事と体の関連について関心をもち、食品の種類や栄養的な特徴を知る。(体の健康)
- ②友だちや先生と楽しく共に食べることを通じて、好ましい人間関係や豊かな心を育てる。(心の育成)
- ③準備、会食、後片付けなどを通じて、勤労の大切さを知り、協調性や社会性を育てる。(社会性の涵養)
- ④望ましい食習慣を身に付け、実践的な態度を育てる。(自己管理能力の育成)

以上、給食はまさにその「食育」の中核として、子どもたちにとって「生きた教材」となっています。今はコロナ感染予防のために黙食(食事中はしゃべらない)をしていますが、それでも給食の時間をみんな楽しみにしています。今日も多くの調理員さんの力に支えられ、味付けや栄養バランスはもちろん、衛生面やアレルギー対応等、細心の注意を払いながら、完全に管理された環境の中で作られ、安心して食べることのできる給食が提供されています。そして何より、みつわの給食は本当に美味しいんです。

4年生の夏祭り

一学期の終業式も間近に迫った7月15日、4年生となかよし学級との交流で「夏祭り」を実施しました。コロナウイルス感染拡大の影響で、今年も各地で予定されていた夏祭りが中止となっています。校区でも狐井の板仏のお祭りは、祭事のみ行われ、夜の店はなくなりました。そんな中4年生は、感染対策もしながらいろいろ工夫して、夏祭りの夜店の楽しさを教室の中で再現していました。みんな大いに盛り上がっていました。



夏休みのプール水泳



コロナ禍で中止してきたプール水泳は、この夏3年ぶりに復活をしました。夏休みに入ってから、今年からは事前に参加申込をしての「プール開放」を行いました。感染予防をしながら、初めて小学校のプールで泳ぐ子のために、安全に楽しみながら水泳の練習ができるように、担当の先生方が様々な工夫と準備をしてくれました。できれば来年、コロナの心配も無くなって、もっとたくさん自由に泳ぐことができるようになることを願っています。

「市水」・「県水」

8月3日(水)に、下田小学校のプールで「香芝市小学校水泳記録会」、8月9日(火)には、まほろば健康パーク・スイムピア奈良(大和郡山市)で「奈良県学童水泳記録会」が開催されました。これらも3年ぶりの大会実施となり、市水に5.6年生19名、県水には4.5.6年生13名の選手が、三和小学校の代表として出場しました。全員が自分の力を出し切って、泳ぎきってくれたと思います。



市水においては、本校6年生の選手が大会新記録を出して、各種目の記録保持者の中に名前を連ねました。